

授 業 科目名	教育課程論		開講年次	2	単位数	2
担当形態	単独	教員の免許状取得のための必修 選択必修 選択科目				
科目区分	教育の基礎的理解に関する科目					
各科目に含めることが必要な事項		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）				
サブタイトル	教育課程を計画し実践する			担当者	丸橋 唯郎	
授業概要	【概要】 教育課程とは、ラテン語の <i>cursum</i> を語源にもつカリキュラムの訳語であり、教育目標に即して児童生徒の学習を指導するために、学校が文化遺産の中から選択して計画的・組織的に編成して課する教育内容の全体計画を意味する。本講義では、カリキュラムの概念史、原理、構成を中心に学習する。 【到達目標】 ①学習指導要領に準拠しながら教育課程を計画し、実践する方法を総括的に体得すること。②教育課程の意義、編成の方法を理解し、学校に応じたカリキュラム・マネジメントをおこなう意義を理解する。					
履修条件	教育原理、教職論、単位認定者を前提とする。					
教科書・ 参考書	【教科書】 適時資料を配布する。 【参考書】 『社会の教育システム』東京大学出版会。『教育思想史事典』勁草書房。					
授業回数	授業内容					
1	学校教育における教育課程の意義 --- 教育課程とは何か 予習：教育課程の意味を調べる。復習：内容をキーワード化する。					
2	教育課程の歴史的変遷 予習：アメリカのカリキュラム史を調べる。復習：広くアメリカ教育史として理解する。					
3	教科カリキュラムと経験カリキュラム 予習：教科、経験について考える。復習：経験カリキュラムとデューイの関係を理解する。					
4	学問中心カリキュラムと人間中心カリキュラム 予習：人間中心とはどんな内容かを調べる。復習：学問、人間の両側面からカリキュラムを再考する。					
5	教育課程編成の方法① --- 教育課程の類型 予習：教育課程編成の基本を整理する。復習：整理した内容をまとめておく。					
6	教育課程編成の方法② --- 教科・相関・融合カリキュラム 予習：相関、融合の差異を確認する。復習：教科・領域を横断して教育内容を選択・配列する方法を理解する。					
7	教育課程編成の方法③ --- コア・経験カリキュラム 予習：コアカリキュラムを調べる。復習：教育課程、指導計画を検討する重要性を理解する。					
8	カリキュラム・マネジメント① --- 教育課程編成の主体と原則 予習：カリキュラム・マネジメントについて理解する。復習：編成した内容をまとめる。					
9	カリキュラム・マネジメント② --- 教育課程の編成と基準 予習：カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解する。復習：具体的な評価基準を認識する。					
10	教育課程編成の特例 予習：特例を調べる。復習：なぜ特例があるか考える。					
11	複式学級・特殊学級・通級による指導の場合 予習：特別支援学校のカリキュラムを調べる。復習：その「特異性」を認識する。					
12	重複障害者の教育・訪問教育の場合 予習：障害者教育のカリキュラムを調べる。復習：さまざまなカリキュラムを類型化する。					
13	教育課程と評価 予習：評価について考える。復習：具体的に評価してみる。					
14	評価の基本的な枠組み 予習：枠組みを理解する。復習：応用した評価をおこなってみる。					
15	学校評価の現状 予習：カリキュラムと評価の関係を把握する。復習：カリキュラムについて再考する。					
評価方法	授業中に複数回行なう小テスト（90%）、受講意欲・態度（10%）で評価する。					
評価基準	S・A：授業内容をよく理解しており、応用力もある、B：授業内容を理解している、C：最低限の基礎力を備えている、D：基礎力が不足している、E：基礎力が著しく不足している、F：評価不能。					
その他	特になし					